

# 夏期派遣YCB生 帰国報告

**原田芽依** 派遣先/アメリカ

期間/平成30年8月5日~8月26日 スポンサー/諏訪湖LC



この度、アメリカ派遣という貴重で素晴らしい機会を与えてくださったライオンズクラブの皆様、携わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。



キャンプ場に向かうバスから見える景色がまるで日本とは違い、そこで「アメリカに来たんだ」と改めて感じました。

最初の一週間のキャンプは日本人23人と他国の若者23人。ヨーロッパからインド、ブラジルと世界中の同世代の人たちと一度に集まれる機会はなかなかないのでとても充実した一週間でした。アーチェリーやカヌー、パレー、スイミングなどのスポーツをしたり、みんなでご飯を食べたり。ご飯の時に、「日本語でなんて言うの?」といろんな言葉を聞いてくれて、寝る前には「おやすみ」、何かしたら「ありがとう」と言ってくれたことはとても印象深く嬉しい思い出です。



キャンプの後、サンフランシスコで二週間のホームステイになり、ステイ中たくさんの場所に連れて行っていただきました。ホストマザーの歌の先生の誕生日会に呼んでいただいたのですが、世界中の音楽を感じてきたと思っていた私にとって、素敵な歌声が広がるその空間はものすごくワクワクするもので、個人の観光では絶対に体験することはできなかったと思います。

多文化を学ぶことが出来たのはもちろん、日本の良さを実感したものでもありました。たくさんの素敵な出会いをし、たくさんの友達ができました。今回の派遣は私の人生



のかけがえのない三週間になりました。

この度は本当にありがとうございました。



**原 総吾** 派遣先/オーストリア

期間/平成30年6月30日~7月29日 スポンサー/飯田赤石LC



私は6月30日から7月29日までオーストリアのウィーンに派遣させていただき、2組の家庭で各1週間のホームステイとおよそ20か国から集まった若者とのキャンプを体験しました。

私にとってホームステイは初めてでホストファミリーとの生活がとても不安でした。しかし到着が深夜だったにも関わらずホストファミリーのハウスマンさんは私のために寿司を作って待ってく

れていました。そして英語が堪能でない私に優しく話しかけてくれ緊張を解いてくれました。それからサッカーの試合を一緒に観戦したりオーストリアの料理を教えてもらったり、逆に折り紙の折り方を教えたりする中で本当の家族のように暮らすことができました。その他にもウィーン的美術館や有名な教会に行ったことも新鮮な経験でした。

キャンプでは英語でコミュニケーションをとることの難しさを改めて実感しました。最初は速いテンポの会話についていけなかったり、質問されたことに答えられなかったりしました。それでもスポーツするときや食事するときに積極的に話しかけると徐々にグループの輪に入ることができました。



話をしている中で想像以上に多くの若者が漫画やアニメを通じて日本のことに興味を持っているということがわかりました。中には日本語を少し喋ることが出来たり日本の生活について質問してくれる人もいてとてもうれしく感じました。

今回の派遣で体験したことや感じたことは私の将来に生かすことができるものばかりでした。最後になりましたがこの機会を与えてくださったライオンズクラブの皆様にお礼申し上げます。



# 夏期派遣YCE生 帰国報告

武田梨瑚 派遣先/フィンランド

期間/平成30年7月19日~8月16日 スポンサー/飯山LC



今回青少年派遣という機会を与えていただき、ありがとうございました。

私はムーミンとサンタクロースで有名なフィンランドに行かせてもらいました。フィンランドは日本とは全く違う点があり、とても刺激的でした。

二軒のホストファミリーにお世話になりました。どちらのホストファミリーにも高校生のホストシスターがいて、お互いの高校について話をしました。フィンランドの学校では、髪の毛を染め

たり、ピアスを開けたり、化粧をしたりしても、怒られないんだよ、と聞いてとてもビックリしました。私は日本の多くの高校では、前述の3つのことをしたりすると、怒られるよと伝えました。そうすると、ホストシスターはとてもビックリしていました。詳しく聞くと、フィンランドの高校は勉強をするために行くのであって、生徒の服装や髪色などには、あまり厳しくないことを教えてくれました。



またサンタパークや、ハイキングに連れていってもらいました。とても、幻想的で、異世界にいるようでした。山頂から見る、町もとても自然豊かで素敵でした。

キャンプでは様々な国の人達で集まり、自分の国のプレゼンテーションをしました。日本にはない建物だったり文化の違いを聞くことができても、勉強になりました。また、みんなに折り紙をプレゼントしたところ、とても喜んでくれました。

今回の海外派遣では、前に行こうという姿勢が付いたと思いますし、様々な国の価値観や文化を学べたとても充実した一ヶ月になりました。

ライオンズクラブの皆様ありがとうございました。



軽部 晴 派遣先/ベルギー

期間/平成30年8月5日~8月23日 スポンサー/上田LC



この夏、私は見知らぬ国の見知らぬ家族にお世話になり、とても貴重な体験をいくつもした。その中で自分の気持ち・考えが大きく変化したことが3つある。



1つは日本。古いレンガ造りの建物で出来上がったベルギーの街並みはとてもきれいだった。すれ違う人々は背が高くスタイルが良く、美男美女ばかり。しかし、地面を見てみるとガムやたばこ、食べ物が落ちており、とてもきれいとは言えない。臭いもした。分煙が進んできている日本。歩道掃除してくれる方がいる日本。日本のいいところを見つけた。



2つ目は言葉。英語が解かればどこに行っても困らないと思っていた。英語で話しかけると返してくれるが、いざ1人でオランダ語の会話の中に居てみると、疎外感を感じた。英語が公用語ではない国に行くときには、その国の言葉をもっともっと、知らなければならなかったのだ。

3つ目は女性の自立。日本人女性は結婚や出産を機に仕事をやめる人が多いが、ベルギーの女性はほとんどの人が手に職を持っていた。金銭的に自立もできているから、離婚も多い。日本人の私には離婚が不幸なこと、子供にはかわいそうなこと、と考えていたがベルギー人にとっては合わなくなったパートナーと暮らす方が不幸なことであるようだ。



実の親、兄弟姉妹ではなくても一緒に生活し、仲良くする姿をみて、すてきな、と思った。

楽しいことと辛いこと、どちらも経験することができた今回の派遣は、私の人生の中で大きなターニングポイントとなったのではないかなと思う。これからも、くじけずに世界中に挑んでいけたら、と思う。

